

## 第2回佐世保市子ども・子育て会議 保育所等施設整備計画策定分科会 議事録（要約版）

日時：令和2年10月23日（金）19時～21時

場所：佐世保市中央保健福祉センター

（すこやかプラザ） 6階・研修室1

| 議事（1）第1回分科会における意見等の確認について  |  |
|--|--|
| 質問・意見等   | 事務局回答・今後の方針など  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回分科会議事録の議事（3）の質疑で、事務局回答に「加点要素については保育の量の見込みや待機児童対策とのバランスを考慮したい」とありますが、具体的にはどうということですか。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>佐世保市子ども・子育て支援事業計画において算出している、市内6地域の令和2～6年度の幼児教育・保育の量の見込みと、その地域における待機児童発生状況とのバランスを考慮して施設整備を進める考えです。</li> </ul>  |
| 議事（2）令和3年度施設整備事業者選定について  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>非公開</li> </ul>  |  |
| 議事（3）保育所等施設整備計画の骨子案について  |  |
| 質問・意見等   | 事務局回答・今後の方針など  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>災害に対してより安全な区域を優先するとのことでしたが、長雨時には川が溢れて登園できなくなった施設もありました。今後そうした施設が補助対象から外れてしまうのでしょうか。<br/>災害リスクがあるからこそ、嵩上げ等の災害防止のための補助が必要です。この部分の記載は外してもらえませんか。</li> <li>浸水しやすい場所だから補助金が出ずに施設が運営を諦めるのか、地域の子育て拠点として強化するのか、その点は考えてほしいと思います。<br/>災害リスクのある場所に新たに施設を建てるのはやめましょう、と市が助言するのは当然のことと思います。</li> <li>土砂災害特別警戒区域等では、防御策をとれば建築は可能です。建て替えを否定するように見せないよう、表現には気を付けるべきと思います。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの安全を思うと、防災面を全く考慮しない整備計画の採択は難しいため、考え方を示すために盛り込んだものです。<br/>建て替え先として災害リスクが高い場所への立地を抑制する手段として記述したつもりでしたが、既存施設の更新も含むように読み取れるとのことでしたので、記載内容の修正を検討します。</li> <li>改訂作業中の都市計画マスタープランにおいても、浸水しやすい場所からの建物の誘導や危険の解消をどう図っていくのか、今年度中にまとめる方向と聞いていますので、本計画案の参考としたいと思います。</li> </ul> |

- 市外ですが、嵩上げが補助対象とならず、現状のまま建て替えを行った施設で、ことしの台風9号で浸水してしまった例があります。どの園も地域に根差した施設ですので、嵩上げの希望があれば、補助していただくとありがたいです。

- 毎年のように災害が起こる中で、保育所等整備交付金とは別でもよいので、もっと早く災害対策の助成制度を拡充する等、施策を打つ必要があるのではないのでしょうか。

- 児童数推計見込によれば、令和6年度は同元年度より1号認定で967人、2号認定で357人の余りが出る見込みで、設備基準上は約2,600㎡余ります。将来、3号認定で375人分不足すると見込む場合、1,000㎡分なので面積上は足りているのではないのでしょうか。

- 現状では、年度当初は保育定員の115%まで、以降は125%まで受け入れ可能となっていますが、事業選定基準の中に、定員の増だけでなく、125%を超えて子どもを受け入れる実績を加味するよう提案します。

昨今、保育所では3歳になると幼稚園・認定こども園に移る子もいるため、その分を0～2歳に振り替えてはどうかと思います。経営上もその方が助かる面はあります。

- 各施設がどのような施設整備を希望するかを聞き取りした上で、補助の要件については、国等にも確認していきたいと思います。

- 災害への備えという観点での補助メニューは要綱等には見受けられないため、今後も状況を注視したいと思います。

市単独補助については、老朽施設の更新も希望する事業者全てに補助できていない現状ですので、国等への要望等含めて考えたいと思います。

- 従来は、災害時でも保育所は開所するとの考えがあり、新型コロナウイルス感染症対策においても、学校は休校なのに保育所や児童クラブは開けるといった例もありましたが、今後は、台風など全市的な被害が想定される場合には休園とするなど、判断基準が必要です。

保護者の皆さんの了解を得るためにも、関係者の意見を聞きながら、検討を進めていきます。

- 児童数推計には令和元年10月からの幼児教育・保育無償化の影響予測を含んでいないため、中間年での見直しに合わせ、表の見せ方は必要に応じて工夫したいと思います。

- 年齢毎にクラスを分ける園やワンフロアで預かる園等、事情も様々ですので、超過受け入れに対する加点については、今後検討します。

議事（４）その他

| 質問・意見等   | 事務局回答・今後の方針 |
|--|-------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 特になし</li></ul> |             |